2027年度　公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院　（病床数　400）【1年次】

受入人数	【1年次】2名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	330,000		無		有（当院規定による）	有（当院規定による）	（平日）8:30～17:00 （土曜）8:30～13:00	10		有（有休利用）	有	3回/月程度	無（本人名義で賃貸の場合、住宅手当半額補助：月額50,000円上限	社会保険・厚生年金・雇用保険・労働保険等

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・糖尿病内分泌内科、脳神経内科、血液内科の病棟を各1ヶ月づつローテートします。CVカテーテル挿入、腰椎穿刺、骨髄穿刺等各種の必要な手技を習得することができます。病棟では5～10名程度の患者を担当します。内科の各診療科の指導医は計15名（病院全体では32名）と充実しております。当院では総合内科があり総合診療科専門医が在籍し、教育体制が充実しております。また初期研修医の直接の指導に関与する内科専修医/専攻医（卒後3～5年目）が8名（含出向者）おります。内科研修では毎朝内科全体での定例モーニングカンファレンスがあり、前日の当直入院の症例等を中心に電子カルテ、大画面でのプロジェクターを利用した検討が行われ、症例の共有や経験ができます。内科各診療科でも毎週回診、病棟カンファレンスや勉強会が行われ、週1回の内科グランド・カンファレンス、定期開催のCPC、地元医師会との合同症例検討会等が行われます。内科学会や同地方会、各種専門領域における学会発表も盛んに行われております。充実したオリエンテーションの他に、コア・レクチャー（クルグス）、感染管理や医療安全教育等の研修が行われます。
救急科	当院は台東区の基幹病院として多くの症例を受け入れています。脳卒中に対してはSCUネットワークに入っており、rt-PA治療のみならず、血管内治療にも対応しております。循環器疾患に対しても、ACSに対するPCI治療も可能です。救急外来で指導医のもとで研修が行われますが、複数の研修医で配属となります。救急専門医の直接の指導を受けることができます。内科研修ともリンクして行います。内科専攻医は10名在籍しており、若手医師による指導も受けられます。2次救急の病院ですが年間救急車は、約4,000台であり、多くの症例を経験できます。
外科	基幹型コースでは一般消化器外科を2カ月、脳神経外科を1カ月間研修していただきます。 一般消化器外科では、常勤医5名で週に概ね10例程度の手術を行っており、頻度の高い大腸癌・胃癌、胆石症などの疾患に対してはほとんどの症例を腹腔鏡手術を取り入れています。腹腔鏡手術は手術に参加する全員が視野を共有できるため教育効果が高く、クリアな大画面で腹腔内の解剖についてしっかり学習することができます。病棟では臨床の最前線にいる後期研修医とともに、術前術後の栄養管理を含めた最新の周術期管理を習得することができます。また、救急部の充実により、最近は消化管穿孔などの緊急疾患が増加しています。画像・理学所見からの診断、本人家族への説明、助手としての手術参加、術後集中治療といった流れの中で、救急のための外科の醍醐味を経験することもできるでしょう。そして、参加した手術では閉創を担当させ、外来手術もできるだけ経験してもらいますので、縫合・結紮といった基本手技を身に付けることができます。
小児科	当院では1年目では研修しません。
産婦人科	当院では1年目では研修しません。
精神科	当院では1年目では研修しません。
一般外来	当院では1年目では研修しません。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

必修科目の研修可能です。

○研修アピール

初期研修1年目には必修科目である内科各診療科（呼吸器、循環器、消化器、腎臓・糖尿病内分泌、神経、血液）計6ヶ月、救急3ヶ月（内1ヶ月は麻酔科研修）、外科（腹部外科・脳神経外科）を3ヶ月間ローテートします。協力型コースでは、慶應義塾大学指定の医療機関での研修となります。

病棟研修や外来研修の他に救急医療や当直業務もあり、専攻医による屋根瓦式の研修や上級医の直接の指導のもと、安全に配慮した高い臨床レベルを目指した研修が行われます。内科系、外科系各科に優秀な人材が揃っており、ほぼあらゆる疾患に対応できると考えますが、専門性の高い疾患だけでなく、「common disease」を多く経験してもらうことにも力点を置いています。

内科研修では毎朝内科全体での定例モーニングカンファレンスがあり、前日の当直入院の症例等を中心に電子カルテ、大画面でのプロジェクターを利用した検討が行われ、症例の共有や経験ができます。内科各診療科でも適宜病棟カンファレンスや勉強会が行われ、隔週（月）開催の内科グランド・カンファレンス、定期開催のCPC、地元医師会との合同症例検討会等が行われます。他に、必要な医療安全教育等の研修が行われます。

尚、令和8年度基幹型採用は7名とフルマッチしております。毎年全国より優秀な医師を集めております。

○研修医からのメッセージ

当院は東京都台東区の基幹病院として地域に根差した医療を担っており、多くの患者さんがまず当院を受診されます。そのため、日常診療で遭遇するcommon diseaseを幅広く経験できるだけでなく、時には希少疾患に出会う機会もあり、多彩な症例を通じて学ぶことができます。

上級医の先生方は指導熱心で、診療に対する考え方や知識を丁寧に教えてくださいます。また、研修中の業務量は忙しすぎず、かといって物足りなさを感じることもなく、実際の臨床経験と自己学習・振り返りの時間をバランスよく確保することができました。

さらに、当院の研修プログラムは選択期間が長く、自由度が高いことも魅力の一つです。将来の進路が既に決まっている方はもちろん、さまざまな診療科を経験してから進路を考えたい方も、自分に合った研修プランを組むことができます。

充実した環境の中で学びながら成長できる研修病院です。ぜひ一度見学にお越しください。

元・臨床研修医/中野 亮介　医師（呼吸器内科）

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　吉田　英雄

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：　人事部採用課　鶴田、成田、浅井

住所：　東京都台東区東上野２－２３－１６

TEL：　03-3833-8389

E-mail：　jinji.saiyo.dr@eijuhp.com